



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5334 URL <https://www.ngkntk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 尊  
 問合せ先責任者 (役職名) グローバル戦略本部財務戦略室長 (氏名) 富田 裕樹 (TEL)052(218)6399  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	419,211	17.0	80,597	47.2	83,665	44.9	58,879	41.9	59,374	41.2	62,984	40.7
2022年3月期第3四半期	358,333	16.7	54,768	53.1	57,722	57.3	41,479	59.1	42,044	57.6	44,776	23.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	292.06	—
2022年3月期第3四半期	206.73	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	859,201	553,085	550,036	64.0
2022年3月期	823,181	517,988	514,317	62.5

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	48.00	—	54.00	102.00
2023年3月期	—	83.00	—		
2023年3月期(予想)				83.00	166.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	585,800	19.1	112,200	48.6	120,500	44.1	85,000	41.2	418.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	204,175,320株	2022年3月期	204,175,320株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	876,182株	2022年3月期	888,764株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	203,295,295株	2022年3月期3Q	203,379,584株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(要約四半期連結財政状態計算書に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

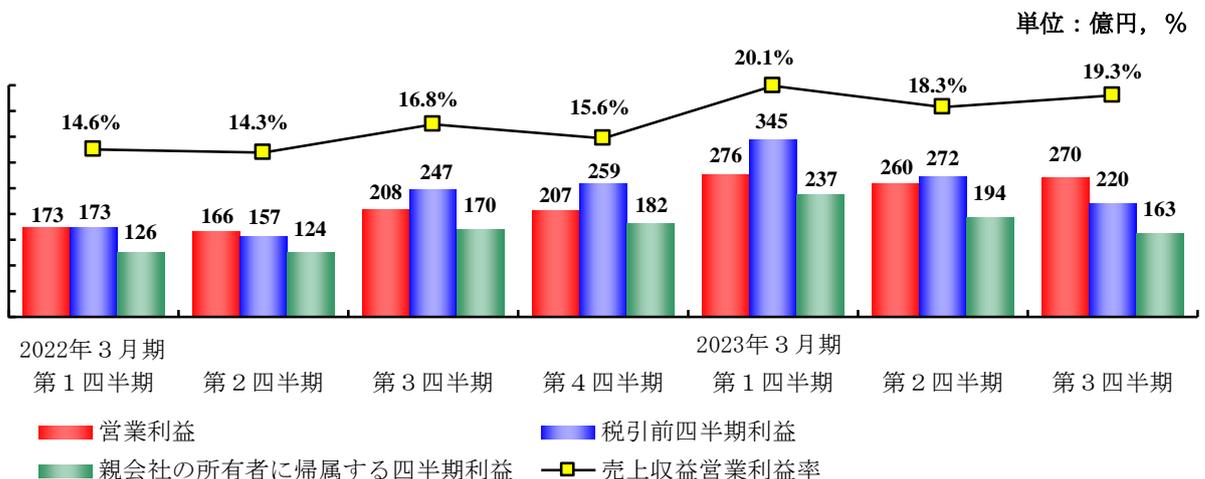
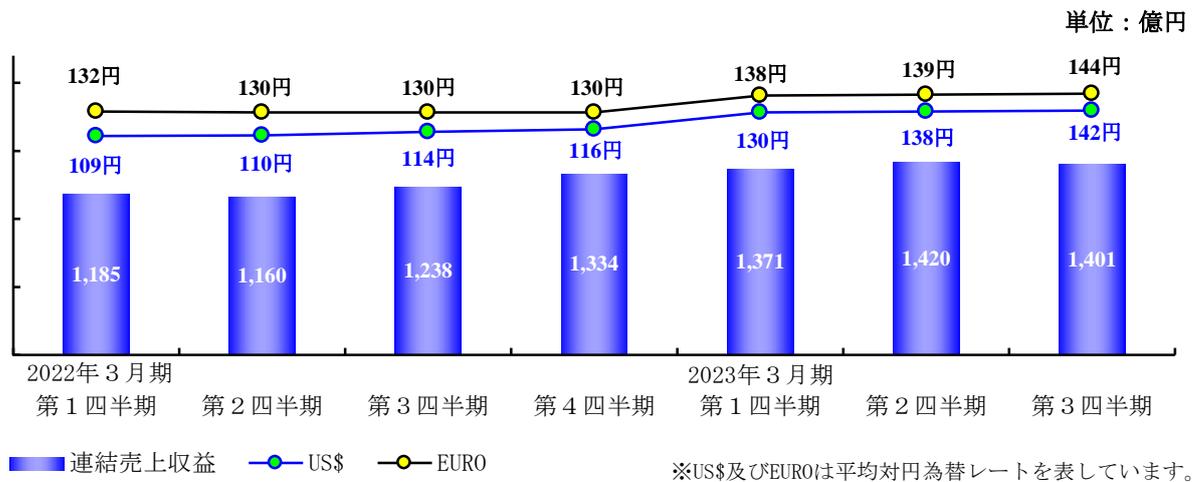
## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、米国においては高インフレや政策金利の引き上げが景気を下押ししているものの、底堅い雇用環境や家計の過剰貯蓄が個人消費の支えとなるほか、堅調な外需が景気を下支えています。欧州においてはウクライナ情勢の混迷に起因する高インフレやエネルギー制約が景気の重石となり、個人消費にも影響を与え、外需についても世界的な景気減速を受け低迷しています。中国においてはゼロコロナ政策に基づく活動の規制の強化で消費が低迷し、外需についても世界的な巣ごもり需要のほく落や米欧景気の減速、活動制限による工場稼働率の低下等を受けて低迷しています。我が国経済においては、物価上昇が個人消費を下押しするものの、家計の過剰貯蓄や政府の物価高対策が個人消費の下支えとなっています。コロナ禍で見送られてきた設備投資もデジタル化関連投資や環境関連投資などを中心に拡大しています。供給制約の緩和により外需は回復しつつあるものの、世界経済の減速が重石となり、経営環境については今後も不透明な状況が見込まれます。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車販売は、車載向け半導体の供給不足や原材料価格の高騰、中国のゼロコロナ政策による部品供給の混乱等のマイナス要因に徐々に改善の兆しが見られ、車両全体で見れば前年同期比で増加する結果となりましたが、内燃機関を有する車両では中国のCOVID-19の影響などを受け横ばいの状態が継続しています。

半導体製造装置業界においては、ウクライナ問題やインフレの影響、供給網の混乱による部品不足は継続しているものの、大手ロジック・ファウンドリーの積極的な投資姿勢は維持されており、今期末までは、引き続き高い成長を見込んでいます。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上収益は4,192億11百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益805億97百万円（前年同期比47.2%増）、税引前四半期利益836億65百万円（前年同期比44.9%増）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は593億74百万円（前年同期比41.2%増）となりました。

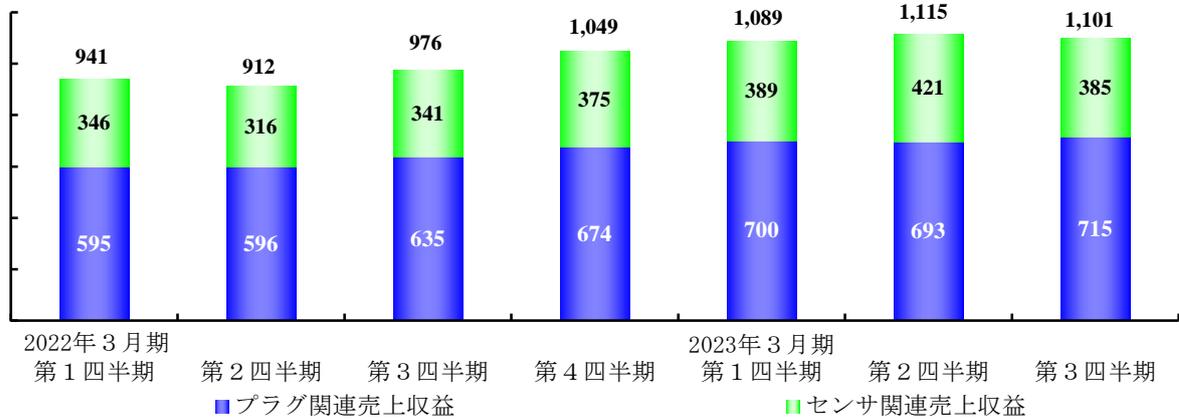


## 〈自動車関連〉

当事業は、補修用製品の販売が鈍化する一方で、半導体供給不足の一部改善による自動車生産の回復が見られ、新車組付け用製品の販売は堅調に推移しています。また、為替市場における円安の進行も当社利益を押し上げる要因となっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は3,304億32百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は780億74百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

単位：億円

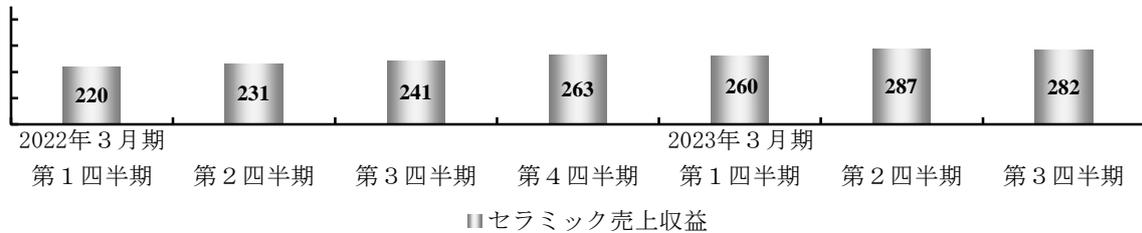


## 〈セラミック〉

当事業は、自動車関連向け機械工具の出荷が回復基調であり、半導体製造装置用部品についても、汎用向けでは投資の抑制により需要に陰りが見られるものの、当社取り扱い製品においては世界的な半導体需要に対応する旺盛な設備投資により堅調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は828億72百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は98億89百万円（前年同期比74.6%増）となりました。

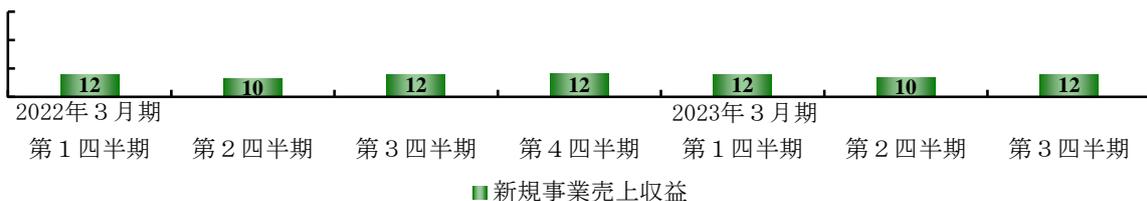
単位：億円



## 〈新規事業〉

新規事業については、当第3四半期連結累計期間の売上収益は34億26百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失は95億25百万円（前年同期は98億73百万円の営業損失）となりました。

単位：億円



**(2) 財政状態に関する説明**

(資産、負債及び資本の状況)

	流動資産	非流動資産	資産合計	負債合計	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期第3四半期	508,409	350,791	859,201	306,115	553,085
2022年3月期	482,255	340,925	823,181	305,193	517,988

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末比 360 億 20 百万円増加の 8,592 億 1 百万円となりました。これは、主として現金及び現金同等物並びに有形固定資産が減少した一方、棚卸資産並びに連結子会社での企業結合によりのれん及び無形資産が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比 9 億 22 百万円増加の 3,061 億 15 百万円となりました。これは、主として未払法人所得税が減少した一方、連結子会社での企業結合により繰延税金負債が増加し、また、リース負債が増加したことによりその他の金融負債が増加したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比 350 億 97 百万円増加の 5,530 億 85 百万円となりました。これは、主として配当金の支払により減少した一方、四半期利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期第3四半期	43,392	△28,515	△30,436	157,228
2022年3月期第3四半期	44,338	△6,943	△52,372	125,821

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 9 億 46 百万円減少の 433 億 92 百万円となりました。これは、主として営業債権及びその他の債権の増減額が減少したこと並びに税引前四半期利益の増加により資金が増加した一方、棚卸資産の増加並びに法人所得税の支払により資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 215 億 71 百万円増加の 285 億 15 百万円となりました。これは、主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 219 億 36 百万円減少の 304 億 36 百万円となりました。これは、主として配当金の支払による支出が増加した一方、短期借入が増加し、長期借入金の返済による支出が減少したことによるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 2 億 2 百万円を加算した純額で 153 億 56 百万円減少し、1,572 億 28 百万円となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2022年10月28日に公表した業績予想数値に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	172,585	157,228
営業債権及びその他の債権	123,944	120,936
その他の金融資産	15,760	15,632
棚卸資産	156,811	198,166
その他の流動資産	13,154	16,445
流動資産合計	482,255	508,409
非流動資産		
有形固定資産	244,652	234,158
のれん及び無形資産	20,162	48,198
使用権資産	9,955	11,246
持分法で会計処理されている 投資	6,987	7,887
その他の金融資産	44,550	34,197
繰延税金資産	12,864	13,312
その他の非流動資産	1,752	1,790
非流動資産合計	340,925	350,791
資産合計	823,181	859,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	53,572	53,056
社債及び借入金	18,601	29,600
その他の金融負債	3,551	3,216
未払法人所得税	19,215	12,646
その他の流動負債	40,664	40,469
流動負債合計	135,607	138,988
非流動負債		
社債及び借入金	136,134	127,047
退職給付に係る負債	21,010	21,231
その他の金融負債	7,486	10,141
繰延税金負債	1,690	5,206
その他の非流動負債	3,264	3,499
非流動負債合計	169,585	167,127
負債合計	305,193	306,115
資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,684	54,816
利益剰余金	375,968	413,002
自己株式	△1,754	△1,731
その他の資本の構成要素	37,550	36,080
親会社の所有者に帰属する 持分合計	514,317	550,036
非支配持分	3,670	3,049
資本合計	517,988	553,085
負債及び資本合計	823,181	859,201

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	358,333	419,211
売上原価	△240,565	△262,150
売上総利益	117,767	157,061
販売費及び一般管理費	△66,963	△79,428
持分法による投資損益	738	324
その他収益	3,706	3,876
その他費用	△480	△1,235
営業利益	54,768	80,597
金融収益	3,885	4,191
金融費用	△931	△1,123
税引前四半期利益	57,722	83,665
法人所得税費用	△16,243	△24,786
四半期利益	41,479	58,879
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	42,044	59,374
非支配持分	△564	△495
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	206.73	292.06
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## 第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	123,778	140,138
売上原価	△83,008	△85,362
売上総利益	40,769	54,775
販売費及び一般管理費	△22,407	△28,356
持分法による投資損益	186	△33
その他収益	2,544	1,086
その他費用	△245	△473
営業利益	20,847	26,997
金融収益	4,377	2,293
金融費用	△524	△7,341
税引前四半期利益	24,700	21,950
法人所得税費用	△7,835	△5,835
四半期利益	16,864	16,114
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,013	16,288
非支配持分	△148	△173
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	83.69	80.12
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	41,479	58,879
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△1,934	△3,038
確定給付制度の再測定	△1	5
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	0	5
純損益に振り替えられる ことのない項目合計	△1,936	△3,027
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,144	6,830
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	88	302
純損益に振り替えられる 可能性のある項目合計	5,232	7,133
その他の包括利益 (税効果控除後)合計	3,296	4,105
四半期包括利益	44,776	62,984
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	45,376	63,490
非支配持分	△599	△505

## 第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	16,864	16,114
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△515	△777
確定給付制度の再測定	△1	5
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△0	0
純損益に振り替えられる ことのない項目合計	△517	△771
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,721	△12,502
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	264	317
純損益に振り替えられる 可能性のある項目合計	4,985	△12,185
その他の包括利益 (税効果控除後)合計	4,467	△12,956
四半期包括利益	21,331	3,157
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	21,434	3,397
非支配持分	△102	△239

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2021年4月1日時点の残高	47,869	54,856	325,187	△1,554	28,518	△6,044
四半期利益			42,044			
その他の包括利益					△1,934	5,268
四半期包括利益合計	—	—	42,044	—	△1,934	5,268
自己株式の取得				△494		
剰余金の配当			△16,919			
株式報酬取引		△203		295		
子会社の増資による非支配持分の増減						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			4,189		△4,191	
所有者との取引額合計	—	△203	△12,729	△199	△4,191	—
2021年12月31日時点の残高	47,869	54,652	354,501	△1,754	22,392	△776

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	22,473	448,831	2,794	451,626
四半期利益		—	42,044	△564	41,479
その他の包括利益	△1	3,331	3,331	△35	3,296
四半期包括利益合計	△1	3,331	45,376	△599	44,776
自己株式の取得		—	△494		△494
剰余金の配当		—	△16,919	△144	△17,063
株式報酬取引		—	92		92
子会社の増資による非支配持分の増減		—	—	1,518	1,518
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	1	△4,189	—		—
所有者との取引額合計	1	△4,189	△17,322	1,373	△15,948
2021年12月31日時点の残高	—	21,615	476,885	3,568	480,454

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日時点の残高	47,869	54,684	375,968	△1,754	22,394	15,156
四半期利益			59,374			
その他の包括利益					△3,033	7,143
四半期包括利益合計	—	—	59,374	—	△3,033	7,143
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		0		0		
剰余金の配当			△27,927			
株式報酬取引		132		24		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			5,587		△5,581	
所有者との取引額合計	—	132	△22,340	23	△5,581	—
2022年12月31日時点の残高	47,869	54,816	413,002	△1,731	13,779	22,300

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日時点の残高	—	37,550	514,317	3,670	517,988
四半期利益		—	59,374	△495	58,879
その他の包括利益	5	4,116	4,116	△10	4,105
四半期包括利益合計	5	4,116	63,490	△505	62,984
自己株式の取得		—	△1		△1
自己株式の処分		—	0		0
剰余金の配当		—	△27,927	△115	△28,042
株式報酬取引		—	156		156
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△5	△5,587	—		—
所有者との取引額合計	△5	△5,587	△27,771	△115	△27,887
2022年12月31日時点の残高	—	36,080	550,036	3,049	553,085

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	57,722	83,665
減価償却費及び償却費	27,958	28,894
減損損失	521	—
為替差損益(△は益)	302	△2,835
受取利息及び受取配当金	△1,601	△2,194
支払利息	672	955
持分法による投資損益(△は益)	△738	△324
固定資産除売却損益(△は益)	398	△938
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△343	9,352
棚卸資産の増減(△は増加)	△19,972	△34,885
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△5,883	△1,065
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	△78	122
その他	179	△4,536
小計	59,137	76,209
配当金の受取額	1,234	1,062
利息の受取額	482	870
利息の支払額	△623	△984
法人所得税の支払額	△15,892	△33,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,338	43,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△775	597
有価証券の純増減額(△は増加)	12,000	6
有形固定資産の取得による支出	△19,662	△15,158
有形固定資産の売却による収入	193	3,512
無形資産の取得による支出	△2,373	△2,870
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,677	△22,390
投資有価証券の取得による支出	△571	△2,184
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,501	9,573
その他	421	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,943	△28,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△16,130	5,477
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△18,000	△6,402
リース負債の返済による支出	△2,237	△2,526
自己株式の取得による支出	△494	△1
親会社の所有者への配当金の支払による支出	△16,882	△27,868
非支配持分への配当金の支払による支出	△144	△115
非支配持分からの払込による収入	1,518	—
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,372	△30,436
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	1,278	202
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,699	△15,356
現金及び現金同等物の期首残高	139,520	172,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	125,821	157,228

**(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

**(要約四半期連結財政状態計算書に関する注記)**

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。当社はこれらについて国及び競争法当局の調査の状況、和解交渉の進展状況及び担当弁護士からの意見聴取等を踏まえて個別にリスクを検討し、将来発生する可能性がある和解金等の損失見込額を費用計上しています。競争法関連費用引当金の残高は、前連結会計年度末において830百万円、当第3四半期連結会計期間末において0百万円です。損失見込額は現時点において入手可能な情報に基づいていますが、見積り特有の不確実性があるため、今後新たな事実が判明した場合等には追加の損失が発生する可能性があります。なお、IAS 第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」に従い、当社の立場が不利になる可能性があるため、訴訟等に係る詳細な内容を開示していません。

**(セグメント情報)**

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

セグメント収益及び業績

(単位：百万円)

	報 告 セ グ メ ン ト				そ の 他 (注) 1	合 計	調 整 額	要約四半期 連結損益 計算書 (注) 2
	自 動 車 関 連	セラミック	新規事業	計				
売上収益								
外部収益	282,909	67,538	3,388	353,835	4,497	358,333	—	358,333
セグメント間収益	—	1,596	—	1,596	—	1,596	△1,596	—
収益合計	282,909	69,135	3,388	355,432	4,497	359,929	△1,596	358,333
セグメント利益 又は損失(△)	58,873	5,665	△9,873	54,666	102	54,768	—	54,768
金融収益								3,885
金融費用								△931
税引前四半期利益								57,722
その他の重要な項目								
減損損失	—	275	246	521	—	521	—	521

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## セグメント収益及び業績

(単位：百万円)

	報 告 セ グ メ ン ト				そ の 他 (注) 1	合 計	調 整 額	要約四半期 連結損益 計算書 (注) 2
	自 動 車 関 連	セラミック	新 規 事 業	計				
売上収益								
外部収益	330,432	81,450	3,426	415,309	3,902	419,211	—	419,211
セグメント間収益	—	1,422	—	1,422	—	1,422	△1,422	—
収益合計	330,432	82,872	3,426	416,731	3,902	420,633	△1,422	419,211
セグメント利益 又は損失(△)	78,074	9,889	△9,525	78,438	2,158	80,597	—	80,597
金融収益								4,191
金融費用								△1,123
税引前四半期利益								83,665

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。